

今冬の大雪・暴風雪等 に関する取組について

今冬の取組のポイント

1 除雪体制の確保

① 国道の除雪体制

⇒ 令和6年度は、直轄国道除雪区間延長L=6,853kmを153箇所の除雪基地と1,074台の除雪機械により除雪体制を確保し、朝の通勤・通学などに影響が出ないよう、交通量の少ない夜間を中心に除雪作業を実施します。

令和3年度のように札幌市近傍の市町村で大雪となった場合には、全道から除排雪機械やダンプトラックを派遣し、豊平川の雪堆積場の嵩上げをするなど、開発局を挙げて除雪体制を確保します。

② 最新技術の活用・拡大

⇒ 今冬も吹雪時に映像を鮮明化する最新技術の活用（令和6年度は約80台増強し計296台の予定）により、これまでできなかった視界不良時にも除雪作業を行うことを可能とし、早期の開通を実現します。

2 大雪・暴風雪時の対応

① 予防的通行止めの実施

⇒ 数年に一度の猛ふぶき等が予想される場合は、予防的通行規制区間の26区間を対象に早い段階で躊躇なく通行止めを実施します。その際には、集中的な除雪の実施により、早期の交通確保を行います。

② 災害対策基本法に基づく緊急通行車両の通行確保

⇒ 大雪に伴う大規模滞留が発生した場合、緊急通行車両の通行を確保するため、法に基づき放置車両・立ち往生車両等の移動を行い速やかな道路啓開を実施します。

③ 通行止め実施時の緊急車両の支援

⇒ 通行止め実施時であっても、緊急車両については除雪車等で先導を行い、地域住民の安全を確保します。

3 防災情報の活用とお願い

① 道路利用者への更なる情報提供や、道路情報収集の充実を図ります

⇒ これまでは通行止め解除のお知らせだけしてきましたが、これからは通行止め解除予告情報を発信します。【新規】

⇒ N T T東日本と連携して、道路施設の損傷などの道路情報の収集に努めます。【新規】

⇒ SNS【X（旧Twitter）】やメール配信サービスなどの活用により、詳細な道路規制情報などの道路情報を引き続き提供します。

② 道路利用者へのお願い



1 除雪体制の確保

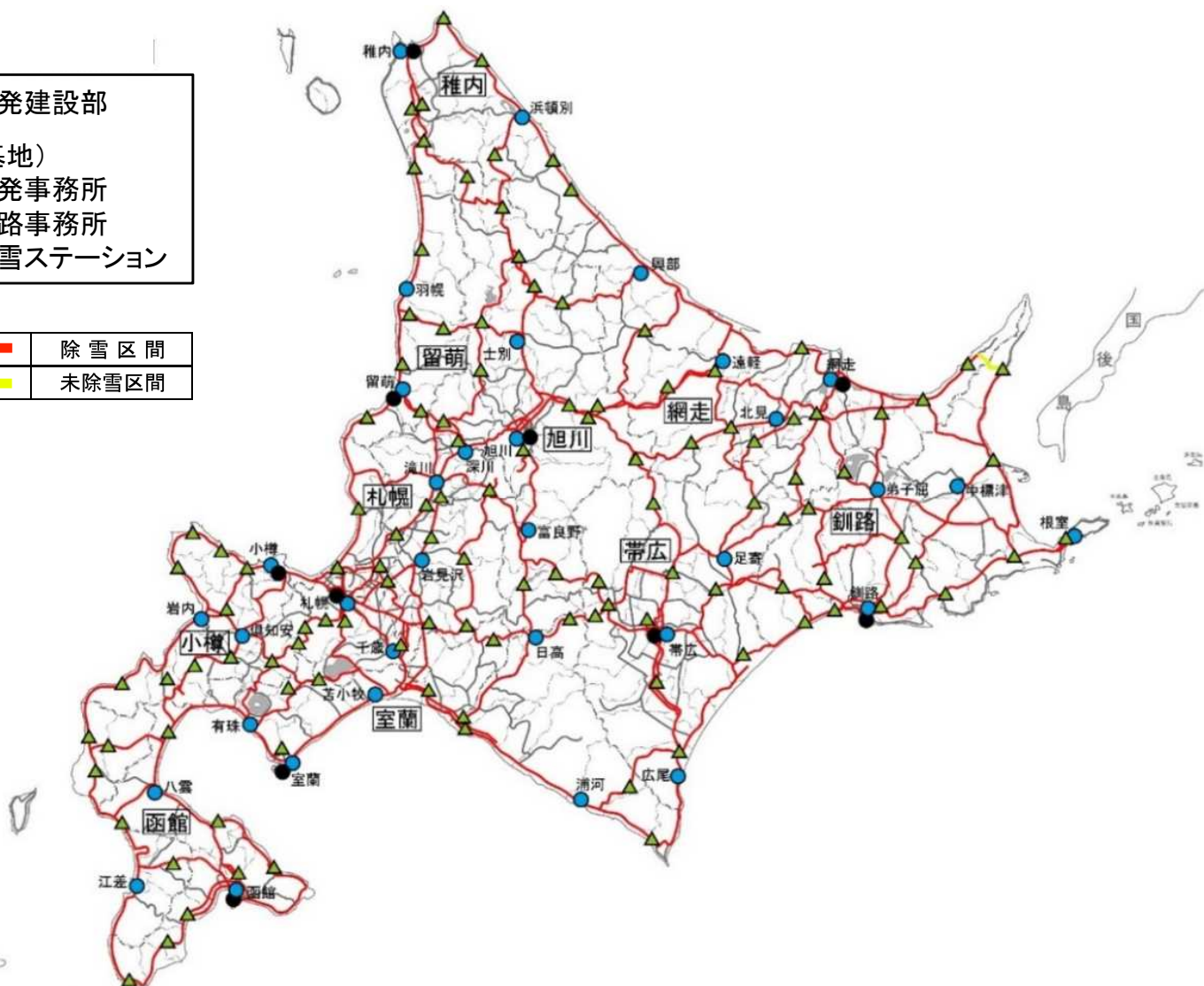
① 国道の除雪体制

○ 直轄国道除雪区間(延長L=6,853km)を153箇所の除雪基地と1,074台の除雪機械により、除雪体制を確保するとともに、朝の通勤・通学などに影響が出ないように、交通量の少ない夜間を中心に除雪作業を実施しています。

【凡例】

- 開発建設部
- (除雪基地)
- 開発事務所
- 道路事務所
- ▲ 除雪ステーション

	除雪区間
	未除雪区間



▽新雪除雪の状況



▽路面整正の状況



▽拡幅除雪・運搬排雪の状況

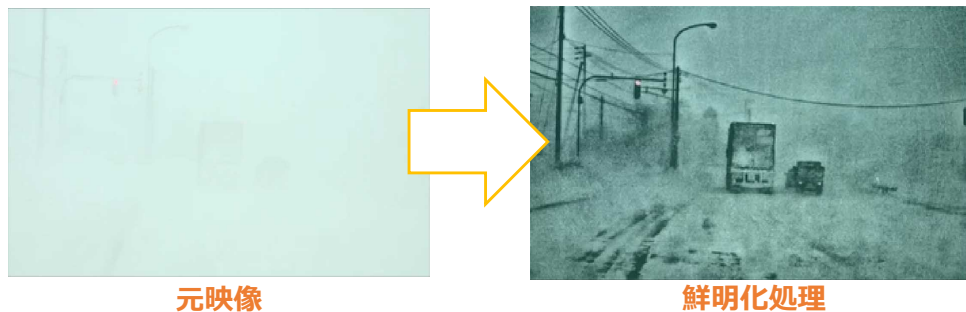


1 除雪体制の確保

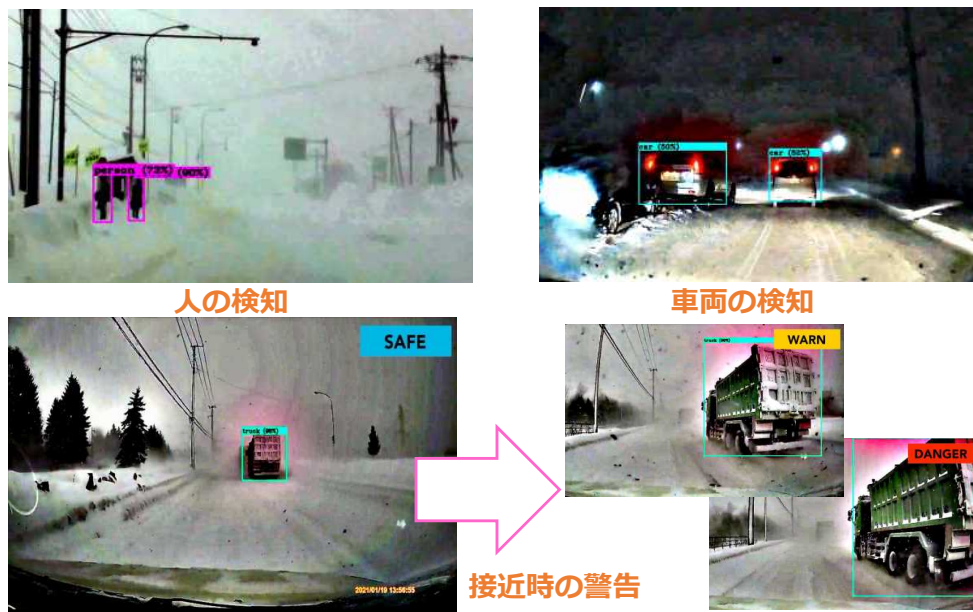
② 最新技術の活用・拡大

- 除雪作業における視界不良時（吹雪等）の映像鮮明化技術を活用した運転支援技術について、令和3年度から全道で配備を開始しております。（令和5年度末で216台配備済み）
- 現場ニーズ及び技術の有効性を踏まえ、令和6年度は**全道で約80台の追加配備を行います。** **【拡大】**

① 映像鮮明化



② 映像鮮明化（AI活用）



▽除雪トラック搭載状況



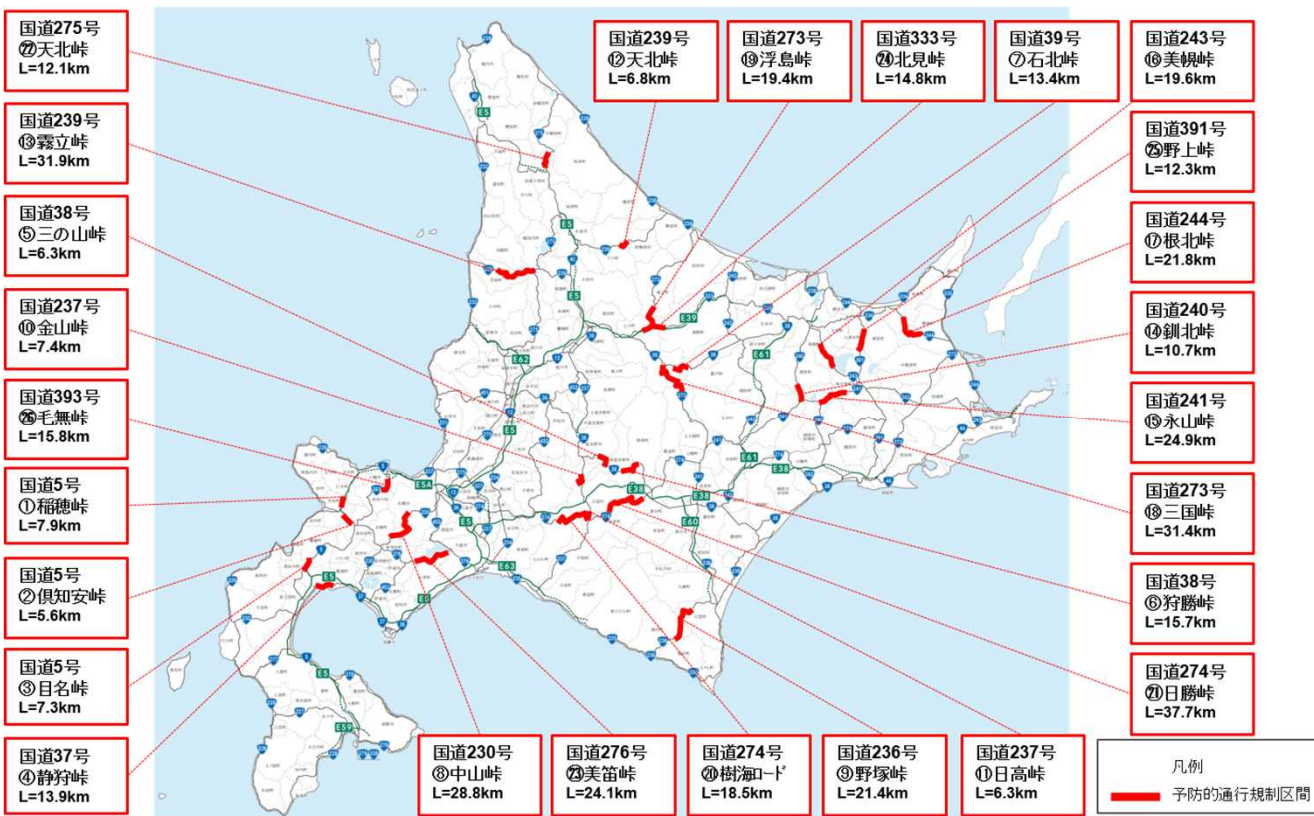
【効果】

- ・ 鮮明化装置を通して見やすくなったもの
車両、標識・信号・矢羽根、周囲の景色、建物、道路等
- ・ 映像鮮明化装置を利用することによる効果
精神負荷減少、走行速度確保、その他（立往生車両の発見等）
- ・ AI活用による車両等の検知・警告の効果
障害の早期検知、警告が有効

2 大雪・暴風雪時の対応

- 数年に一度の猛ふぶき等が予想される場合は、車両の大規模な立ち往生の発生による通行止めの長期化を防ぐため**早い段階で躊躇のない通行止めを実施**。通行止め実施後は、**集中的な除雪により早期の交通解放**を行うことで、住民生活や社会経済活動への影響を少なくすることを目指します。
- 災害対策基本法に基づき、大規模災害時において緊急車両の通行を確保する必要がある場合には、車両の立ち往生対策として道路管理者が区間を指定し、自ら放置車両・立ち往生車両等の移動を行います。
- 傷病人の搬送等、緊急性の高い場合は自治体等の要請に基づき、通行止め区間の除雪車等での先導支援を行い地域住民の安全を確保します。

① 予防的通行規制区間（26区間）



② 災害対策基本法に基づく緊急通行車両の通行確保



放置車両・立ち往生車両の移動状況（訓練）

③ 通行止め実施時の支援活動



（国道39号網走市）人工透析患者の搬送を先導

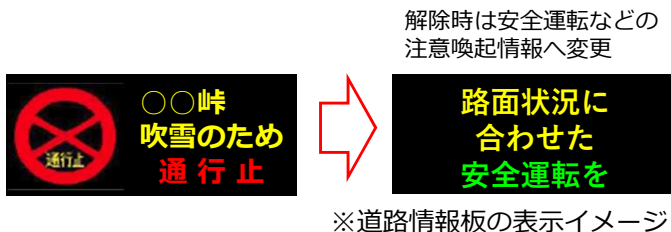
3 防災情報の活用とお願い

◆通行止め解除の予告情報発信【新規】

○道路利用者へのきめ細かな情報発信として、道路情報板やSNSなどを活用した**通行規制の解除予告を解除の30分～1時間前**にお知らせします。
※天候の急変等により、解除予告が実施できない場合もあります。

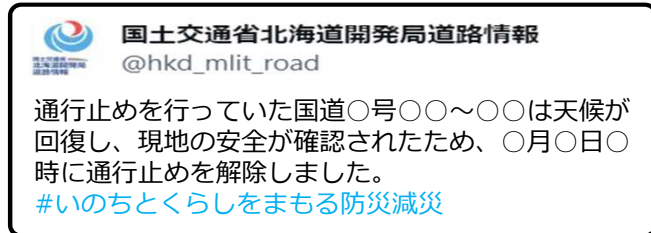
■これまでの対応

○道路情報板



○X (旧Twitter)

通行止めを解除した際にポスト



※X(旧Twitter) のポストイメージ

○通行止め情報メール配信サービス

- メール登録者に
- ・通行止め開始
- ・通行止め内容変更
- ・通行止め解除の情報を配信

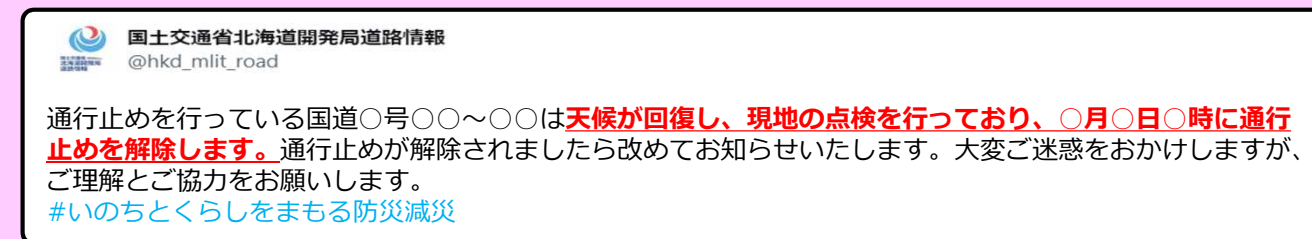
■これからの対応

○道路情報板



○X (旧Twitter)

通行止め解除情報前に解除予告をポスト



※X(旧Twitter) のポストイメージ

○通行止め情報メール配信サービス ※事前の配信登録が必要です。

メール登録者に

- ・通行止め開始
- ・通行止め内容変更
- ・通行止め解除予告
- ・通行止め解除の情報を配信

【解除予告通知】国道〇〇号

通行止め解除予定時刻をお知らせします。

■解除時刻:
【変更前】(未定)
【変更後】平成30年〇月〇日 午前〇時×分(予定)

配信サービス登録サイト

スマホから▼ ケータイから▼

3 防災情報の活用とお願い

◆ N T T 東日本との相互情報の提供・活用の拡充【新規】

○従前より民間企業・団体などと道路緊急ダイヤル# 9 9 1 0等による緊急通報の連携を図っております。
今後、**新たにN T T 東日本と連携協定を締結し**、道路巡回や営業活動に伴う移動時に発見した道路損傷やNTT設備の不良を双方で情報を提供することでインフラの円滑な維持管理を実現します。

▼道路管理者

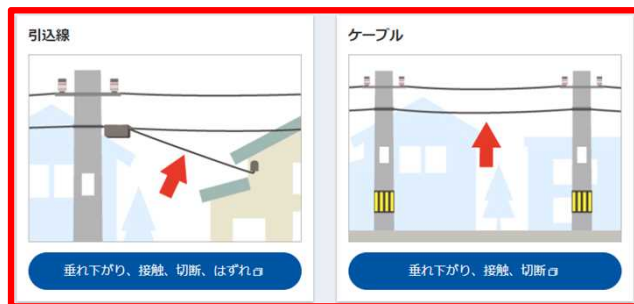
道路巡回（パトロール）時に、

- ・ ケーブル・引込線の垂れ下がり・切断
- ・ 電柱・支線の損傷・傾斜・ひび割れ・サビ
- ・ マンホール・公衆電話・接続設備の異常を発見した場合

NTT東日本の故障受付「Web113」を活用して通報

- NTT東日本の故障受付「Web113」を活用
Web上で通信回線故障やケーブル（電線）
・ 電柱などの設備の不安全状況を受付

故障受付の一例



こちらから受付が可能 <https://web113.ntt-east.co.jp/>

▼NTT東日本

NTT東日本の営業等の移動や点検時に

- ・ 路面の穴ぼこ、道路施設の破損などの損傷
- ・ 地すべり・落石・雪崩・冠水・落下物・路面の汚れなど
の道路の異常を発見した場合

道路管理者の道路緊急ダイヤル「# 9910」を活用して通報

- 道路管理者の道路緊急ダイヤル「# 9910」を活用
道路の異常（路面の穴ぼこ、雪崩など）を通報

冬期事象の一例



3 防災情報の活用とお願い

◆(公財)日本道路交通情報センターと連携した情報発信強化

- (公財)日本道路交通情報センター (JARTIC) と連携して、道路情報を北海道開発局がリアルタイムに提供する。
- 大雪・暴風雪などの悪天候が予想される場面において、**外出を控えることや広域迂回への協力依頼**などの情報発信をラジオ放送で実施します。

■(公財)日本道路交通情報センターと連携したラジオ放送による情報提供

課題

- ・ 道央圏の交通量の多い国道で通行止めが複数発生したことにより、接続する道道・町道で迂回しようとした車両の立ち往生が多発 (R5年1月24日~26日)
- ・ 運転中のドライバーは、通行止め等の道路交通情報をSNS等で収集することが難しい

- ・ 大雪・暴風雪などの悪天候が予想される場合に場面において発信したい情報を(公財)道路交通情報センターへ北海道開発局より情報発信を依頼し、ラジオ放送により情報発信する。

取組

- ・ 北海道開発局がリアルタイムに道路情報 (悪天候、通行止め等) を提供
- ・ (公財)日本道路交通情報センターがラジオ放送によりドライバーに最新情報を提供し、外出を控えることや広域迂回への協力を呼びかけ

・ 道内では〇日から〇日にかけて【〇〇】の影響で高速道路や国道などが通行止めになる可能性があります。車の立ち往生や事故による渋滞などを防ぐため、**悪天候の時は車での外出を控え、大型車はタイヤチェーンの装着の徹底や、通行止め区間周辺の市町村道を利用した迂回は行わず、国道などに大きく迂回するよう北海道開発局では協力を呼びかけています。**



日本道路交通情報センター

発信内容

①悪天候予測時・警報等発表時

- ・ 高速道路・国道等の通行止めの可能性
- ・ 悪天候時の車での外出控え、大型車のタイヤチェーン装着徹底の呼びかけ

②予防的通行止め・悪天候による通行止め実施時

- ・ 高速道路・国道の通行止め情報
- ・ 通行止めの増加や周辺道路における立ち往生・事故の発生の可能性
- ・ 通行止め区間周辺の市町村道を利用した迂回は行わず、国道等を利用した広域迂回の協力依頼

3 防災情報の活用とお願い

◆インターネットやメール配信による道路情報の提供

- 「道路情報提供システム（Webページ）」では北海道内の道路（国道・道道）の通行止め情報や、国道のカメラ画像等を提供しています。
- また、「メール配信サービス」では、北海道内の国道の通行止め情報を提供しており、配信においては**任意での国道路線・区間の絞り込み選択、配信のタイミングを設定**することが可能です。

■道路情報提供システム（Webページ）

こちらからご覧になれます

<https://www.road-info-prvs.mlit.go.jp/roadinfo/pc/>



▼通行止め情報の提供

クリックすると通行規制情報の詳細を提供

規制箇所ごとに

- ・ 区間・延長
- ・ 解除予定日時
- ・ 規制原因 などの情報表示

地図上で規制箇所を表示

▼国道のカメラ画像提供

- ・ 国道カメラ画像を提供
- ・ 気象状況や路面状況が確認可能
- ・ 15分間隔で更新

気象情報も確認できる

■メール配信サービス

スマホから▼

ケータイから▼



こちらからご覧になれます

(スマホ) <https://www.road-info-prvs.mlit.go.jp/announce/as/>
(ケータイ) <http://www.road-info-prvs.mlit.go.jp/announce/fp/>

メール登録者に

- ・ 通行止め開始
- ・ 解除予告
- ・ 通行止め解除 の情報を配信

任意の路線だけ選択できる

パターン1 → 「出発地」と「目的地」で選択

パターン2 → 通行する「峠」で選択

パターン3 → 通行する「国道」と「市町村」で選択

任意のタイミングで配信できる

夜間(22時～翌7時)の配信を停止することが可能

3 防災情報の活用とお願い

◆ 関係機関と連携した情報提供、SNSの活用

- 「数年に一度の猛吹雪」や「記録的な大雪」などの悪天候が予想される場合に、北海道開発局、北海道運輸局、札幌管区気象台及びNEXCO東日本が連携し、注意喚起を目的として、最新の気象情報や立ち往生時の注意点及び通行止めが行われる可能性の高い国道区間などの情報を緊急的に報道発表します。
- 通常の報道発表に加えて、**SNS**等を活用し、プッシュ型の情報発信を実施します。
- また、北海道運輸局と連携して、自然災害等による交通障害や公共交通機関の運行状況等の情報を発信します。

■ 気象台、運輸局及びNEXCO東日本と連携した緊急発表

国土交通省 Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
ウボボイ

令和3年2月15日
北海道開発局
北海道運輸局
札幌管区気象台
東日本高速道路(株) 北海道支社

暴風雪に対する緊急発表

～最新の気象情報・道路情報・交通関係情報を事前に確認し、万全な備えを～

日本海側では、16日は急速に発達する低気圧により「数年に一度の猛ぶき」となる見込みです。見通しの全くきかない猛ぶきや吹きだまりによる立ち往生に警戒が必要です。最新の気象情報や道路交通状況等を確認していただき、万全な備えをお願いします。

札幌管区気象台では、「暴風雪と高波及び高潮に関する北海道地方気象情報」を発表し、別紙1のとおり、暴風雪等への警戒を呼びかけています。

北海道開発局では、今後の悪天候に備え、十分な除雪体制を構築しておりますが、過去に別紙2の様な立ち往生車両が発生していることから、早い段階で通行止めを行う場合がございます(別紙3)。また、高速道路においても通行止めなどの規制実施が予想されるとともに、並行する国道でも通行止めの可能性がありますので、通行計画の見直しや広域の迂回などの対応をお願いします。なお、立ち往生車両が発生した場合、別紙4のとおり、緊急通行車両の通行確保を目的とした、立ち往生車両等の移動を行う場合がありますので、予めご了承願います。

また、「ぶき」による視程障害や吹きだまりによる道路交通障害、公共交通機関の遅延や運休が発生するおそれがあります。最新の道路情報、交通関係情報や気象情報(別紙5参照)を十分に確認していただき、不要不急の外出は避けていただくとともに、万全の備え(別紙5、6参照)をお願いします。

<最新の気象情報・道路情報・交通関係情報は、こちらを御覧ください>
気象情報: <https://www.jma.net.go.jp/support/>
北海道知政連絡センター: <https://rte-road.hokkaido-hkd.mlit.go.jp/>
北海道 旅の安全情報(交通機関の運行情報が確認できます): <http://safety-travel.jp/>
道路交通情報NOW!! - 日本道路交通情報センター: <https://www.jardic.or.jp/>
ドライブトラフィック(PC・スマホ): <https://www.drivetrffic.jp/>

■ SNS(X 旧Twitter)による情報提供

開発建設部 道路情報

国土交通省北海道開発局 @hkd_kaihatsu

【通行止め情報】
12月22日夕方からの悪天候の影響により国道の#通行止めを実施しています。
⑦国道273号(三国峠)、⑧国道39号(石北峠)は降雪状況により、本日の解除はできません。また、その他の規制区間についても、現段階では解除のめどは立っておりません。

【国道337号 #札幌大橋】
令和5年1月25日11:30現在
国道337号の札幌大橋で事故により当別方向の車線が通行止めになっています。通行を予定されている方は最新の交通情報をご確認ください。
#札幌のちとらしをまわる防災減災

北海道開発局道路情報公式Xアカウント

こちらからご覧になれます
https://x.com/hkd_mlit_road

- ・ 国道の通行止め情報や災害情報をツイート
- ・ 開発建設部毎に道路情報専用のアカウントを開設
- ・ 大雪時は外出抑制、立ち往生発生状況等を情報発信

■ 北海道運輸局と連携した情報提供「北海道旅の安全情報」

こちらからご覧になれます
<https://hokkaido-safe-travel.brdg.jp/>

公共交通機関の交通情報等のプラットフォーム

主な運行状況

- JR北海道
- 新千歳空港 国際線出発
- 新千歳空港 国内線出発
- 北海道旅客船協会
- 高速バス
- 道路情報提供システム
- ドライブトラフィック
- 北海道ハイウェイ協会(クワック)
- 北海道バスinfo

道路情報はこちら

3 防災情報の活用とお願い

◆情報提供のお願い

【道路緊急ダイヤル#9910】

○道路利用者からの緊急通報を24時間受け付け、道路の穴ぼこ、路肩の崩壊等の道路損傷、落下物や路面の汚れなど道路の異状への対応を図り、道路通行の安全性を確保。

【みち・レ・ポ】

○『みち・レ・ポ』では北海道「道の駅」デジタルスタンプラリー機能のほか、同サイトから高規格道路や国道の異常気象や災害に伴う通行止め情報等を提供。また、同サイト利用者が発見した道路異状を投稿する機能も備え、迅速な道路維持管理に活用。

道路緊急ダイヤル#9910

道路の異状等を発見した場合に、直接道路管理者に緊急通報が可能。通報を受けた道路管理者は、迅速に道路の異状への対応を図り、道路の通行の安全性を確保します。



【みち・レ・ポ】



令和2年11月から試行開始

▼道路利用者への提供

電子スタンプラリーを楽しめます

道の駅に行き、「みち・レ・ポ」のマップに表示される「道の駅」のアイコンをタップすることで「道の駅」のスタンプを押印できます。

道の駅の情報を簡単に取得できます

イベント開催情報や商品の入荷情報、営業のご案内など、北海道の「道の駅」から発信される情報を簡単に取得することができます。

通行止め情報を簡単に取得できます

北海道開発局が管理する高規格道路、及び国道の異常気象や災害による通行止め情報等を確認できます。

▼道路利用者からの提供

道路の異状を投稿できます

道路の異状や破損、悪天候によるトラブルなどを発見した際に、投稿フォームにて情報の投稿をお願いします。

除雪作業へのご理解・ご協力をお願い

道路利用者へのおお願い

○大雪・暴風雪警報発表時は立ち往生の発生を回避するため、**不要不急の外出**をお控えください。

○通行止め箇所での**車両停車**は除雪作業の妨げになるので、ご遠慮ください。

○**路上駐車**は、円滑な**除雪作業の妨げ**になりますので、ご遠慮ください。

○車道や歩道への雪出しは、**交通事故の発生や車・歩行者の通行の障害**となる場合がありますので、**自宅内の雪は道路に出さない**でください。

○大型の除雪機械により除雪作業を行うため、玄関前等に一部の雪が残ることがあります。除雪作業後の**残雪処理は、各ご家庭等、ご使用者**にて実施していただくよう、ご理解をお願いします。

道路管理者からのお願い

- 暴風雪による大雪や猛吹雪、吹きだまりにより「立ち往生」などの可能性がありますので、**不要不急の外出は控え下さい。**
- やむを得ず自動車を利用し外出する場合には、ヘッドライト点灯、防寒対策などの事前の備えを十分に行うようお願いいたします。また、**大型車はスタッドレスタイヤでも走行できない恐れがありますので、タイヤチェーンを必ず携行・装着して下さい。**
- 安全な走行が困難な場合は無理をせず、最寄りの「SA・PA」や「道の駅」等で、天候回復を待つなど、早め早めの対応をお願いいたします。

■ 暴風雪等への備えと対応

外出の際は以下の備えを



立ち往生し救助を求めるときは

- 立ち往生してしまった場合は、ハザードランプ点灯や停止表示板等により、停車していることが他の車や周囲にわかるように表示。
- 警察・消防等に救助を求める場合は、出来るだけ位置を正確に伝える。

※国道での位置は、道路脇の1km置きに設置された標識を確認。

※警察署、消防署へ救助を求める場合 : 110 / 119
道路管理者へ救助を求める場合 : #9910
JAFロードサービスへ救助を求める場合 : 0570-00-8139
(#8139)



立ち往生して車内で救助を待っているときは

- 車で走行中に立ち往生してしまい車内で救助を待つときは、低体温症や凍傷、排気ガスによる一酸化炭素中毒にならないように十分注意が必要です。

！ 一酸化炭素中毒の危険性

車が雪に埋もれたときにエンジンをかけ続けると排気ガスによる一酸化炭素中毒の危険性が生じます。埋もれる深さが深いほど危険です。



！ 原則エンジン停止

一酸化炭素中毒の危険をなくすにはエンジンを切ることが大切です。防寒着や毛布、新聞紙などで体温の低下を防ぎましょう。



！ エンジンをかけるときは

防寒等でやむを得ずエンジンをかけるときには、排気管出口を確実に大気へ開放し、追加の降雪や吹きだまりによる再埋没に注意しましょう。



※窓を開けていても風向や窓の開度等の条件によっては、一酸化炭素中毒の危険性があります。